

茨城県 社会福祉士会 NEWS

NO. 51

発行 一般社団法人 茨城県社会福祉士会
Ibaraki Association of certified Social Workers

発行日 平成27年3月19日<2014. 3. 19>

編集 広報事業部

事務局 〒310-0851

茨城県水戸市千波町1918

茨城県総合福祉会館内

Tel : 029-244-9030

Fax : 029-244-9052

ホームページ <http://www.csw-iba.org/>

Eメール csw-iba@csw-iba.org

第2回共通基盤研修を開催しました！ in 茨城県総合福祉会館

3月1日（日）茨城県総合福祉会館において共通基盤研修を開催しました。

今回の研修では、日本社会福祉士会が生涯にわたり研鑽を重ねていくべき共通の研修課題として設定している『権利擁護』『生活構造』『相談援助』『地域支援』『福祉経営』『実践研究』の6領域の中から、『生活構造』を取り上げました。

「自立生活支援について考える～当事者主体の自立生活支援とは～」というテーマで茨城県社会福祉士会の竹之内会長を講師に前半は講義を、後半は当事者の方お2人にもご参加頂いての演習を行いました。演習ではグループに分かれて当事者の方にインタビューをさせて頂き、その内容をもとに「想いのマップ」を作成し発表、最後は当事者の方に講評までして頂きました。

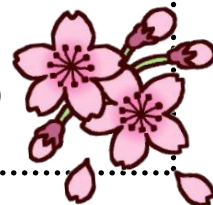
研修会の中で実際に当事者の方と面談をできる機会はなかなかないため、受講者からは貴重な経験ができたとの感想を多く頂くことができました。



**2015 年度茨城県社会福祉士会
定時総会を 5 月 30 日(土)に開
催いたします。**

時間等の詳細は後日お知らせ
いたしますので、皆さまご予定
の調整をお願いいたします。

目次、第2回共通基盤研修を開催しました！・・・1
2014年度 第2回 共通基盤研修「生活構造」に参加して・・・2
基礎研修Ⅲを受講して・・・3
会員の声「20年目に想うこと」・・・4
各ブロックからの活動報告・・・5～8
（県央ブロック・県南ブロック・県西ブロック・鹿行ブロック）
お知らせ、編集後記・・・9～10



2014年度 第2回 共通基盤研修「生活構造」に参加して



県央ブロック 小堤 康生

平成27年3月1日（日）に茨城県総合福祉会館を会場として開催された社会福祉士共通基盤研修「生活構造」に参加しました。

午前の部は竹之内章代茨城県社会福祉士会会長を講師として「自立生活支援について考える～当事者主体の自立生活支援とは～」についての講義でした。自立生活の概念について伝統的な自立観やアメリカのIL運動をきっかけとした新しい自立観、障害者の権利条約のスローガンにみる自己決定、社会福祉法など法にみる支援やICFについて。ケアマネジメントの基本理念や生活ニーズ、面接時の留意点として目を合わせる、うなづくなどのノンバーバルコミュニケーションの活用などについて学びました。利用者主体のプランニングについては本人の想いが反映されているか？利用者や家族のストレングスに着目できているか？本人が結果を実現できるような目標となっているか？表現が肯定的で積極的なものになっているか？そして支援のためのチームづくり。普段の仕事を振り返ったとき、ご本人の想いを的確にとらえているか？ご本人が「やってよかった」「支援してもらってよかった」と実感を持ってもらえているのか？表現は肯定的で積極的か？そしてソーシャルワーカーに求められる信頼関係を形成する力、専門的面接技術、うらにある想いをくみとるアセスメント力、支援ネットワークの形成力がまだまだだと実感しました。

午後は午前中の内容の応用として「自立生活支援を支えるためのアセスメントとは～当事者の声を聴く～」をテーマにグループワークでした。今回の研修に参加したいと思った動機は当事者の参加でした。実際に支援を受けている当事者の生の声を聞けることはなかなかないことですので楽しみにしていました。グループワークの目的は①当事者が発言しやすい環境を整え、発言を促すコミュニケーションスキルを身につけること。②当事者の発言を正しく聴き取り、当事者と共有しやすい方法で記録化すること。③聴き取った内容の違いから、アセスメントの視点を確認すること。④聴き取った内容を整理報告することで、理解を深め、関係者へのインフォメーション（情報提供）の方法を身につけること。各グループ3名が当事者にアセスメントのための面接を行ったのですがトッパッターとして模擬面接に臨んだ自分は「普段行っているように面接しよう」と臨んだものの緊張でガチガチになってしまい聞くべきことも中途半端、とうとう当事者の方に「ガチガチになっていますね？緊張してますか？表情硬いですよ」など心配されてしまいました。発言しやすい環境どころか「この人大丈夫かな？」という不安を与えてしまいました。目的をふまえてまとめたグループ発表では、当事者の望む「ひとりで暮らしたい」を実現できる内容であったかについて私たち援助者が陥りやすい「こうあるべきだ」「こうしたほうがよい」になってしまっていたように感じました。

誰の生活なのか？「私たち援助者が決めた生活を送って果たして幸福感を味わえるだろうか？」利用者主体とは何かについて学び直すよいきっかけとなった研修でした。



基礎研修Ⅲを受講して



高瀬 修一

一昨年、昨年と2年続けて基礎研修Ⅰ、Ⅱを受講した勢いで、平成26年度は基礎研修Ⅲを受講させていただきました。

3年目のこの研修は、日頃の自分の業務、所属する組織の役割や使命を自ら見つめ直しながら、社会福祉士の専門性を生かして人を育てる、組織、地域、社会に向かってアクションを起こす考え方、技法を学ぶ有意義な時間でした。

スーパービジョンのモデルセッションでは、自分の考え方の癖や傾向を意識することができ、あらためてスーパービジョンの重要性を理解することができました。普段の業務で行っていることが表面的で、自分が狭い範囲で物事を考えていたかを実感しました。

模擬事例検討会では、論点に沿った検討会を行うためには、司会者の準備はもちろん、参加者の心構えがあって実現するものであることを体感しました。本人をはじめ参加者が意見を出しやすい環境のつくり方、事実確認のための質問から関わり方の質問に展開させる技術は、即実践に役立てることができるものでした。同時に、本人の意思を尊重することの大切さとそれを実現させる難しさについて、受講者皆で共有しました。

事例研究をする意味についても学びました。援助者がとった行動の意図や理由をひも解くことで、専門的な関わり方、働きかけがあったことを説明することができ、社会福祉士の専門性を社会に認めもらうために現場レベルで積極的に行うべき研究であると理解しました。

福祉経営について法的に考えたり、苦情をサービスの質の向上につなげる考え方を学んだり内容は盛りだくさんでした。

研修の最後に行われた地域の課題解決に向けた具体策、計画を策定する科目において、自分が援助している対象者を通して見えてくる地域の課題を、対象者、地域をアセスメントし、社会福祉士としての関わり方を考え、課題解決のための計画を策定しました。この時、課題に気付く視点、解決するためにどのような機関と連携すべきか考える力、計画作成の力が、3年前に基礎研修Ⅰを受講する前の自分と比べて、格段に向上したことを実感できました。自分が業務として関わっていない他分野についても広い視野でものを見ることができるようになったようにも思います。

基礎研修Ⅰ～Ⅲを終了して言えることは、この研修は、知識の量を増やし、幅を広げるだけでなく、社会福祉士という専門職であることを自覚するためにとっても有意義な研修です。3年間、ともに受講した社会福祉士の仲間のひたむきな姿を目の当たりにし、とてもよい刺激を受けてきました。研修の最後には名残惜しい気持ちで解散しましたが、さまざまなところで社会福祉士の仲間が活躍していると思うとこれからも励みになります。

最後になりましたが、会長をはじめ研修運営にご尽力くださった役員の皆様のご配慮も長期間の研修を乗り切る支えとなりました。お礼申し上げます。ありがとうございました。



最近、私の職場で社会福祉士資格取得のための通信教育の申し込みをした職員がいます。一般の大学を卒業し福祉関係の資格は何も持っていませんが、人柄がとてもよく、利用者さんに対してもとても良い関わりをしています。でも仕事に対して自信がなさそうに見受けられ資格取得を勧めてみました。

わたくしごとになりますが、サラリーマンから障害者施設に転職し勤続20年が経過いたしました。よく続いたなというのが実感です。福祉関係の学校を卒業したわけでもなく、全く畑違いの職場からの転職でしたので戸惑いの連続でした。申し送りに出ても解らない言葉が飛び交い、メモを取ろうにも何をメモすべきか判らない。資格のある年下の若い職員さん達がてきぱきと動き、ケース会議では意見を述べあっています。「これはえらいここに転職しちまった」と愕然としたのを思い出します。

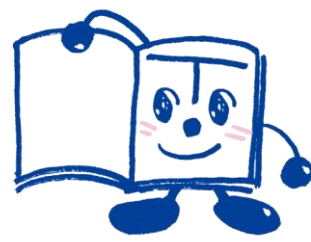
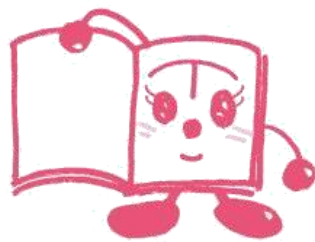
勉強しないとまずいなあとと思い、通信教育を受講し始めました。不思議なもので学生時代嫌いだった勉強も仕事と結びついてくると楽しいもので、スクーリングで出会った方々とは今でも交流があります。大変ではありましたが充実した2年間でした。

資格を取って何か変わったのかと問われると、仕事上は何も変わりはありません。ただ感覚的なことなのですが自分の内面では何かが変わったように思います。それまで仕事に自信がなく根無し草のような状態であったのが、ちょっとだけ自分に根拠が持てたように感じたのです。仕事への姿勢が変わったのもこの頃からのように思います。

以来、福祉系以外の学校から就職した方、他業種から転職してきた方を見ると資格取得を勧めています。中には「福祉の資格なんて取る意味あるの」という方もおられます。業務独占の資格ではないので資格がなくとも働けます。どのように応じればよいのか今でも答えに窮します。我ながら思考が薄っぺらいなあと自虐的になりますが、自分自身の体験や資格を取って感じたことをお話しすると乗ってきて、結果、何名かの方がチャレンジし資格を取得致しました。明快な回答が出せないのにも関わらず話に乗ってくれたのは何故なのか考えてみたのですが、おそらく皆漠然とはあるけれど何かやりがいを見出したい、能動的に働きたいと思っているのではないかと思います。

ふと気が付くといつの間にか後進を育てる齢回りになってしまいました。現在は、福祉の人材を確保することも育てることも大変な時代です。数ある仕事の中から、福祉を選んでいただく、そして永く働いていただく。自分自身が仕事の「魅力」を語れなくては誰も福祉を選んでくれない、永く働いてくれない。

まずは福祉の仕事や社会福祉士という資格のもつ「いいところ」「強み」(ストレングス)をポストイットに書き出してみようかなと思います。



県央ブロックだより



皆様こんにちは。3月を迎え梅の名所の偕楽園は、今がちょうど見ごろの時期となりました。

この3ヶ月を振り返りますと、12月20日には法テラスとの初の試みとして地域住民の方へ向けた「司法と福祉の講演会—成年後見制度について—」を水戸市常磐市民センターにて行いました。また、2月1日には昨年に引き続き司法と福祉の合同相談会を行い、10件の相談に弁護士と社会福祉士がタッグを組んで対応しました。

30分という短い時間の中でも主訴に應えることで、次の一歩を踏み出していく相談者の姿に司法ソーシャルワークの意義を再認識しました。他の専門職との協働は学びが多く、これからも相互に連携をしながら相談活動に取り組んでいきたいと思ひます。

来月には新しい年度が始まりまた忙しくなるのですが、ブロック活動の更なる充実のために平成27年度もどうぞよろしくお願い致します。ブロック活動へ、多くの皆様のご参加をお待ちしています。〇^



●〇「司法と福祉の合同講演会—成年後見制度について—」に参加して〇●

児童デイサービス キッズハウスえくぼ ひたちなか 黒田 卓

今回地域で生活される住民の方を対象に成年後見制度についての講座が開催された。まず弁護士の方より日常生活の中で、判断能力が年齢や障害、その他の事由により低下、もしくは低下が見られ始めた際に、ご本人の財産管理や諸契約の手続きを本人に代わり行えることを問題形式や、分かりやすい言葉を使いながら住民の方に説明された。住民の方も講座開始直後より今日、明日にでも必要になるかもしれない内容に、大変熱心に聞き入り、メモを取られている方も沢山おられた。その後実際に成年後見人として活動する横須賀優氏より、通常使用する書面などを参考資料としてあげながら、住民の方に説明を行った。今回は病院への通院費用や預貯金、不動産売却などの事例であったが、終始実際の話を自分に照らし合わせながら皆さんお聞きになられていた。

また、参加者の方の質問では、後見人、保佐人、補助人の区別の差がどのような点であるのか等に関心がある方が多かったように感じた。

今回社会福祉士として参加させて頂き講座を通して感じたことは、実際に講座によって知りえた知識を、住民の方がいかに自分の事、家族の事と実践されていくかという点である。その過程で、また改めてどのような点に制度の難しさや、申請の難しさ、申請すること自体への不安感を住民の方が抱かれるかを検証し、安心を感じて頂きながら将来に繋がるお手伝いや情報を社会福祉士として再度お伝えしていかなければならない。

今回弁護士、社会福祉士両者の立場で制度を捉え講座を開くことが出来、各機関同士が連携し安心の輪を構築していくものが後見制度である事を住民の方にご理解いただけたのではないかなと思う。

◆研修会のお知らせ◆

横浜発！精神障害者ピアヘルパー
西 純一 劇場

■日時：平成27年3月28日（土）

■時間：13：00～14：30

受付は12：30です

■場所：茨城県総合福祉会館

4階 大研修室

*ピアとは仲間という意味です。同病の
仲間の介護に仕事として関わっている
西氏の実践は力強さを秘めています！
皆様お待ちしております♪（担当：滝口）

◆研修会のお知らせ◆

・・成年後見活用講座・・

■平成27年4月18日～19日

■場 所：茨城県総合福祉会館

*只今、申し込み受付中です。

今年は県央ブロックが担当ですので
当日ご協力いただける方は、事務局
までご連絡下さい。どうぞ宜しくお願い致します。（担当：三田寺）

県南ブロック活動報告

ホームページ ⇨ <http://ibanancsw.hp2.jp>

今年度も多くの皆様にご参加頂き研修会や懇親会など無事に開催することができました。新たに迎える 2015 年度も出会いや交流を楽しみに、より多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。まだ参加したことのない方も気軽にまずは顔を出してみてくださいネ◎ ぜひ一緒に楽しみながら活動していきましょう！

研修会「相談援助の記録の書き方」を開催しました！

3 月 14 日は霞ヶ浦医療センターを会場に「相談援助職の記録の書き方」というテーマで研修会を開催しました。申込みが殺到し当初 50 名としていた定員をあっという間にオーバーしてしまうという嬉しい悲鳴！そのため定員を増員して開催し、当日は 74 名（うち会員 43 名）の参加がありました。講師には福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター特命准教授の八木亜希子先生をお招きし、記録作成の基礎からリスクマネジメントの為の記録の方法など演習を交えながらお話して頂きました。

参加者からは記録についての研修が少ないため申し込んだが例を上げながらで分かりやすかった、こういう研修を求めている、もっとじっくり勉強したい等の感想が聞かれました。今回は通常ならば 6 時間をかけて行う研修内容をギュッと 3 時間に凝縮して頂いての開催でしたが、皆さまのご要望にお応えして 7 月頃にフルバージョンでの開催を計画しています。



「地域関係機関の情報交換研修会」を開催しました！

11 月 29 日つくばライフサポートセンターみどりのにおいて、社会福祉法人創志会と社会福祉法人尚恵学園、県南ブロック共催で情報交換研修会を開催し、各事業所や関係機関から 100 名（うち会員 10 名）の参加がありました。

セッション 1 「相互理解と連携のミスポジション」というテーマでは、病院、学校、行政の立場から、相談支援による計画作成や事業所、各機関との連携についてのあるべき姿の提案という形でお話を頂きました。セッション 2 では、児童発達管理責任者、就労分野のサービス管理責任者、相談支援専門員の方から、「再アセスメントの視点と共に」というテーマで、モニタリングやアセスメントにおいて大切にしていること、注意していること、今後の課題などのお話を頂きました。交流会では、それぞれの事業所の方々と名刺交換や情報交換を行い、同じ悩みを抱えている事業所とすぐ連絡や相談が出来るようなネットワークづくりを行うことができました。（猪瀬）



★次回のブロック会議及び懇親会の開催予定★

4 月 18 日（土）18 時～開催予定です。詳細はホームページをご覧ください。来年度からはより参加の意義を感じて頂ける様、会議後半に会員による自主企画を開催することになりました！会員同士で知りたいこと（制度、その他）を発表し合い学びましょう。4 月の担当は土浦市役所の加藤会員です。



県西ブロック



活動だより

県西ブロックの活動について

平成26年6月に第1回研修会を下妻市にて開催しましたが、残念ながらそれ以降ブロック単独での研修会を開催することができませんでした。

総会資料にも掲載されておりますが、ブロック活動のために毎年活動費が支給されております。専門職としての資質向上を目指すだけでなく、会員相互の情報交換、顔の見える関係づくりのために、この活動費を有効活用していきたいと考えております。

ブロック活動活性化のためには、会員の皆様のご理解とご協力が必要不可欠です。ご多忙とは存じますが、今後ともお力添え下さいますようよろしくお願いいたします。

平成27年3月

県西ブロック長 岩田真由美

携帯電話のカメラで、
下記のアドレスを
読み込むことができます



お願い

皆様の連絡先(メールアドレス)をお知らせください！

現在会員名簿は事務局が一元管理しており、ブロック会員の皆さんへの連絡手段は、年数回発行される会報に記事を書ける、あるいはチラシを作成し、事務局に依頼して郵送してもらう方法しかありません。

迅速な情報提供の手段を確保するため、また今後のブロック活動活性化のために、会員の皆様の連絡先（主にメールアドレス）の登録を、引き続きお願いいたします。いただいた個人情報は、厳密に管理します。

【登録方法】

氏名、電話番号、メールアドレス、勤務先をメールの本文に記載し、下記のアドレスまで送信して下さい。

送信先：m.iwata@city.yuki.lg.jp

（県西ブロック長 岩田あて）

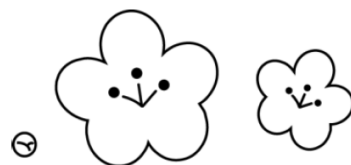
なお、携帯電話のメールアドレスを登録される場合は、上記アドレスからのメールが届くよう、迷惑メール設定の変更をお願いいたします。

ブロック活動に関する皆様のご意見、ご提案をお寄せ下さい。

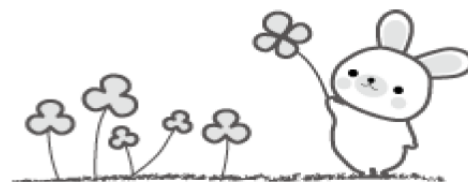
○実施したいブロック研修の内容について

○会員の交流会開催について ○メーリングリストについて など

→メール：m.iwata@city.yuki.lg.jp（岩田）



鹿行ブロック活動



平成 26 年 11 月 15 日行方市いきいきサポートコスモス館の見学に行ってきました

行方市にいきいきサポートセンターコスモス館を立ち上げた社会福祉士の伊東さんに、立ち上げるようになったきっかけや、施設の位置づけや、利用の仕方などお話を伺いました。

いきいきサポートセンターコスモス館では、精神疾患、知的障害、身体障害の方を受け入れています。生活介護（定員 10 名）、就労支援継続 B 型（定員 10 名）、放課後等デイサービス（定員 5 名）をしています。就労支援継続 B 型では、乾燥野菜、ジャム、ビーズで作る髪留め、革製品（ストラップなど）を作っています。乾燥野菜は好評リピーターも多いそうです。

どこへも出かけられない人の居場所となるようにと「いきいきサポートコスモス館」を立ち上げましたが、開設当初は利用者が少なく、運営が回らず大変だったこと。はじめは生活介護での利用者が、就労支援移行され、通われることが楽しいといってくれる声が、伊東さんをはじめスタッフの皆さんのモチベーションとなっていることなど、たくさんのお話を聴かせていただきました。

伊東氏をはじめスタッフの方が、利用されている方のことを心から考え、居心地よくすごしてもらおうとしていることが、今回見学させていただき肌で感じる事が出来ました。

伊東さんやスタッフの皆さんにはお忙しい中、快く見学させていただきありがとうございました。



今年度は総会も含め 3 回研修会を行いました。遠方の会員の方にも多数ご参加いただき、ありがとうございました。快く講師を引き受けていただきました千葉様、船橋様、伊東様、ありがとうございました。

平成 26 年度より 2 年間、平成 27 年度も引き続き銚田地区で鹿行ブロック活動を担当させていただきます。今後とも、ご理解、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成 26 年度活動報告

平成 26 年 7 月 13 日	介護保険制度改正のポイント 鹿嶋市だいどう地域包括支援センター千葉剛氏
平成 26 年 9 月 13 日	わかりやすくすぐに役立つ年金セミナー 社会保険労務士船橋信正氏
平成 26 年 11 月 15 日	いきいきサポートセンターコスモス館視察研修会



平成 27 年度の研修につきましては、現在講師を調整中です。テーマをひとつに絞り、理解を深めていくために連続講座も調整中です。きまり次第お知らせいたしますので、たくさんの会員の方の参加をお待ちしております。

第27回社会福祉士国家試験結果

受験者数：45,187 名

合格者数：12,181 名

合格率：27.0%

茨城県の合格者数：186 名

3月13日（金）に合格発表があり
茨城県でも186名の方が合格し
ました、(^o^)

新たに社会福祉士に仲間入りをする
方に出会ったら「合格おめでとう！
社会福祉士会に入って一緒に活動し
よう！」とお誘いしましょう♡



★新規入会会員大募集中です★

職場やご友人に社会福祉士の資格をお持ちでまだ社会福祉士会に入会されていない方はいらっしゃいませんか？また、新たに社会福祉士国家試験に合格した方はいらっしゃいませんか？もし身近にそんな方がおりましたら、ぜひぜひ社会福祉士会への入会のお声かけをお願いいたします。

資格取得はスタートラインです。様々な研修に参加したり、懇親会でネットワークを広げたり、社会福祉士会で更に自分を磨いて行きましょう！相談できる仲間が増えとお仕事をする上でもとっても心強いですよ♪

茨城県社会福祉士会ホームページ (<http://www.csw-iba.org/>) にある入会申込書請求フォームから入会に必要な書類を請求できますので、ぜひご活用ください。



茨城県社会福祉士会のFacebookページをオープンしました！



<https://www.facebook.com/csw.ibaraki>

ホームページの更新情報や研修会の様子等を発信していく予定です。

皆さまぜひ「いいね！」やフォローをお願いいたします m(_)_m

※「いいね！」などのご参加を頂くにはFacebook への登録（無料）が必要となります。



—訃報—

会員の北野邦幸さんが
12月16日にご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り
申し上げます。

【編集後記】

街に出ると木々や花々に春らしい彩りを感じられるようになってきましたね。皆さまいかがお過ごしでしょうか？年度末を迎え、新入職員の受け入れ準備や介護保険制度改正への対応準備など新年度に向けての準備に忙しくされている方も多いのではないかと思います。

当会では来年度も引き続き研修会や懇親会、定時総会など予定しております。ぜひお知らせやホームページ、Facebookページ等で予定をチェックして積極的にご参加ください。多くの仲間とつながっていると何かと心強いです。自分の幅を広げていくためにも、どんどん活動に参加して交流を図り、ネットワークを広げていきましょう！

新たに迎える2015年度が皆さまにとってより良い1年になりますように☆彡

広報事業部